

第 11 回学生生活調査結果に基づく支援・改善事項の対応状況

国際健康開発研究科

調査項目	支援・改善事項	対応状況(実施結果)
入学・修学	◎大学院研究指導の改善。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度より、独立行政法人国立国際医療研究センター職員1名を人事交流により教員として受入れた。 ・平成24年度より、同センター所属の客員教員7名による講義、研究指導を開始した。
	・留学生対応の向上。	・英語により実施する講義科目数を6科目に増加した。
	・大学院カリキュラムの改善。	・熱帯医学研修課程(3ヶ月コース)の一部を受講可能とした。
大学生活	・国際性の向上。	留学生が多く在籍する医歯薬学総合研究科熱帯医学修士課程の講義科目の一部を受講可能としている。
進路・就職	◎就職指導と情報提供の充実。	・外部講師によるキャリアアップセミナーを年4回開催した。

◎は、重点支援項目とする。